

2025年2月25日(火)

山と山は出会わないが、人と人は出会うことができる ～能登登と多摩をつなぐ ふれあいコンサートに寄せて～

能登半島地震から1年を過ぎましたが、続く9月の豪雨も重なり地形・地質的な特徴もあって能登半島を結ぶ道路の完全復旧もままならず、能登半島の復旧・復興への道半ばと言えるでしょう。多摩市役所では様々な機関や組織を通して廃材処理や物産販売など多面的に支援に取り組んでいるとのことです。

このような状況にあって、この度、桜ヶ丘商店会連合会(会長:三橋誠)の皆様のお引き合わせにより青梅市(旧明星大学キャンパス)に一時的避難をしている日本航空高等学校石川校吹奏楽団と本校吹奏楽部のジョイントコンサート「能登と多摩をつなぐ ふれあいコンサート」を本校講堂にて、24日(月・祝)を開催いたしました。コンサートには、阿部 裕行多摩市長、三階 道雄多摩市議会議長をはじめとする多くのご来賓の皆様にご臨席をいただきました。ご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。

主催者である桜ヶ丘商店会連合会の皆様の積極的なご努力とご支援により、会場には600名近い皆様をお迎えして盛大にコンサートを開催することができました。復興に立ち向かわれている能登の皆様へ、音楽監督:藤井 一弥先生率いる日本航空高等学校石川校と大塚 聖子教諭率いる本校吹奏楽部が、それぞれの個性と特徴を活かしながら音と調べに乗せて寄り添う思いと夢をお届けるようにしました。

また、コンサートの最後には、神戸から駆けつけてくださった臼井真先生(神戸親和大
学准教授)指揮の下、二校の生徒たちの合唱で先生の作品『しあわせ運べるよう』を吉本 元太さん(桐朋音楽大学4年)の伴奏で、また先生のご好意で歌詞の一部を「石川」に代えた歌声をお届けして幕を閉じました。

なお、コンサートの様子は多摩テレビ 111ch で3月2日(日)～5日(水)まで放映(8:30 10:30 15:00 18:30 20:30 23:00)されます。ぜひ

ご覧下さい。コンサート翌日、職員室の私の机上には国語科講師の松下裕子先生が詠まれた素敵な和歌が置いてありましたので、ここに披露しておきます。

さて、表題にあるように私が若い頃に過ごした東アフリカには「山と山は出会わないが、人と人は出会うことができる」というスワヒリ語の諺があります。今回の両校のコンサートが実現するまでには、実際に多くの方々の支えがあり、こうして音楽を通して皆さんと出会え、復興へ向けた思いを分かち合うことができました。「災害列島」と呼ばれる日本にあって、遠く離れていても被害を正しく学んで、現実をしっかりと受け止め、次の世代へと語り継ぐ使命と思いやりの心を持って、これから日々の学習活動に活かして行こう、と決意を新たにしたところです。

改めて、能登半島にお住まいの皆様に平穏で安全な日常が取り戻せますよう祈念いたします。末尾になりましたが、改めて今回のコンサート開催にお力添えいただいた関係の皆々様に厚く御礼申し上げます。



コンサートを終えて

石飛 一吉

参考図書

前口 憲幸(2024)『能登半島記(未完) 被災記者が記録した300日の肉声と景色』時事通信出版局, 224 ページ.

遠田 晋次(1995, 再2016)『活断層地震はどこまで予測できるか』講談社ブルーバックス, 264 ページ.

かしこ
畏み子らは歌うたひ継ぐ

令和七年二月二十四日

松下
裕子

おおなみ
大地震に生かさるる身の不可思議を